

やあだ通信

誠実 情熱 行動



発行者 安田あつし後援会
住 所 米子市尾高1694
TEL 0859-27-1835
FAX 0859-27-1901
携 帯 090-8064-3775
<http://www.komei.or.jp/km/yonago-yasuda-atsushi>



豪雨、土砂災害対策のさらなる強化を —災害から人の命を守る—

皆様には、日頃より公明党に力強いご支援をいただき、心より感謝と御礼を申し上げます。こちらは市民生活の課題に耳を傾け、その課題解決に取り組む公明党の安田あつしでございます。



7月3日に静岡県熱海市伊豆山で土石流が発生し、甚大な被害を受けました。亡くなられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げるとともに、被災されたすべての方々にお見舞いを申し上げます。

また、中国地方などでも最高ランクの避難情報である「緊急安全確保」が発令され、記録的な大雨によって、堤防が決壊するなどの被害が発生しています。

公明党は、熱海で発生した7月3日に「令和3年7月1日からの大雨特定災害対策本部」を設置し、被害状況や現場からの要望などを取りまとめ、7月9日には、棚橋泰文防災担当大臣、13日には赤羽一嘉国土交通大臣に二次災害防止や早期復旧、被災者支援に向けた財政支援を柱に要請を行いました。

公明党は、防災・減災、国土強靱化について、2021年度から5年間の新たな計画を策定し、必要十分な予算を確保すべきだと強力に主張してきました。この主張も踏まえ政府は、21~25年度を期間とする「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を昨年12月に閣議決定しました。

総事業費は15兆円程度で、風水害・大規模地震への備えやインフラの老朽化対策など計123項目に重点的に取り組み、完了時期の前倒しなどを図ります。要不可欠な情報を入手することができます。また、防災、子育て、高齢者支援、防犯、交通安全など地域の課題への対応も容易となります。(裏面に続く)



8月の活動を掲載

米子総支部 8/15
終戦記念日街頭演説



活動を紹介



公明党鳥取県本部



米子総支部 西部圏域で街頭演説を実施



8/15



『史跡米子城跡発掘調査』の三の丸現場状況視察



8/20

近年の災害は、激甚化、頻発化し、兆候が見えないものも多くなっています。この度の大雨も西日本豪雨の際も災害の原因となっているのが「線状降水帯」です。いくつもの積乱雲がほぼ同じ地点で連続して発生し、繰り返し強い雨を降らせ続けることで大きな被害をもたらしています。

本年6月17日に気象庁は「顕著な大雨に関する情報」の運用を開始しました。この情報は、雨量や雨域が基準を満たした場合に発表されます。土砂崩れや洪水の原因となる「線状降水帯」はその発生の予測が難しく、長時間居座ることを想定することが困難なため、見える化し事前の備えや避難行動につなげることを目的としています。

公明党の山口那津男代表は昨年10月の代表質問で「早期避難に直結する線状降水帯の観測・予測技術の向上は喫緊の課題」だと指摘し、政府に対策を求めており、政府の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」には、25年度に向け、線状降水帯の発生情報を「半日前」から提供できるよう、技術開発に取り組むことなどが盛り込まれました。



公明党は「防災・減災を政治、社会の主流に」を掲げ、2018年度から3年間にわたって、河川堤防のかさ上げやハザードマップ（災害予測地図）の周知徹底など、ハード・ソフト両面にわたる緊急対策も進めてきました。

今後も地方と国のネットワークの力をより一層深化させ、皆さまが安心して暮らせる社会を目指し、誰一人置き去りにせず、救える命を救う、防災・減災対策に全力で取り組んでまいります。